



クラスの継承

オブジェクト指向プログラミング特論

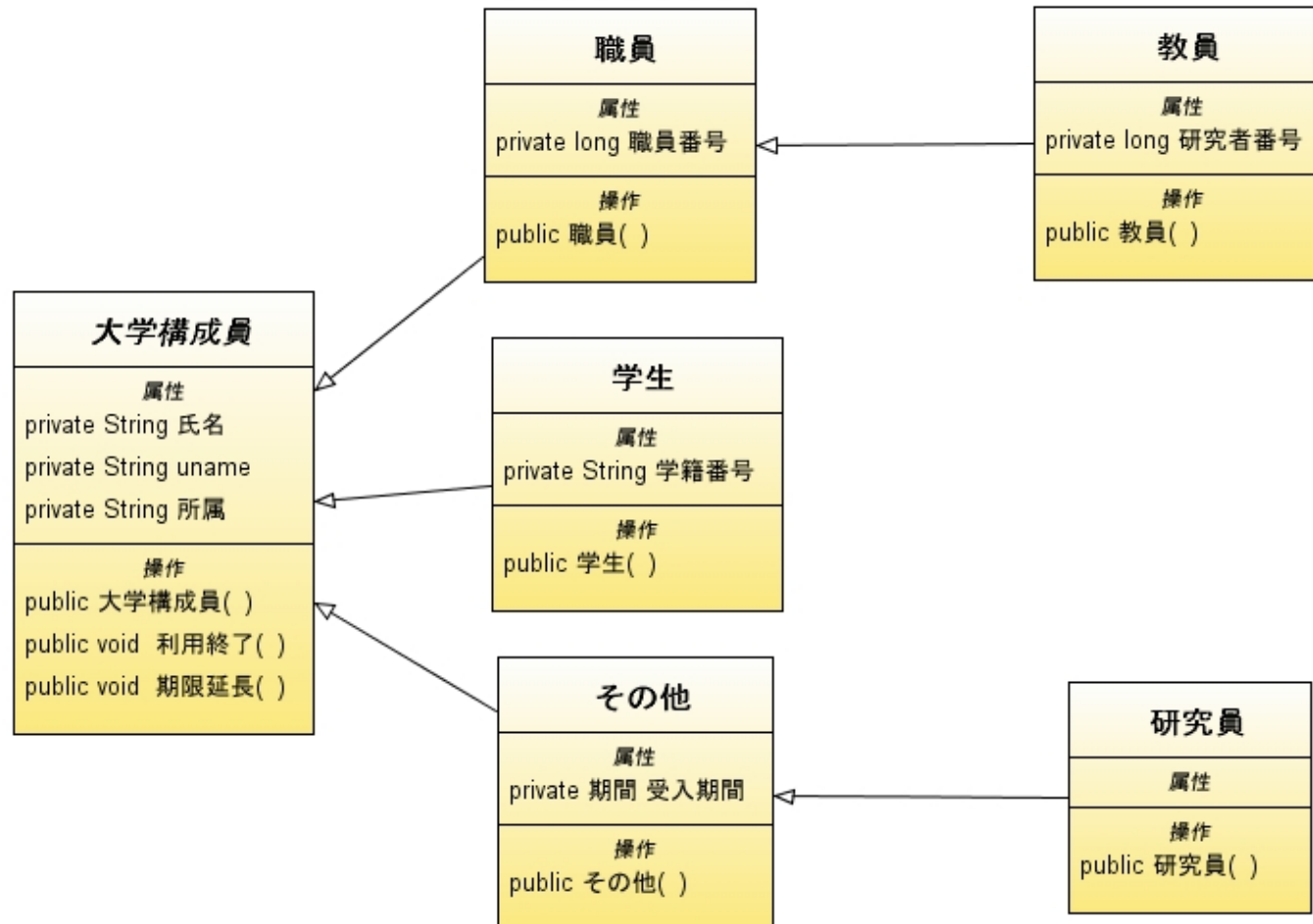
只木進一:総合情報基盤センター

CLASS, SUPER CLASS, SUBCLASS

- クラスには階層構造がある
- 例: 生き物の階層構造
- 例: 組織の階層構造
- 上位のクラス: super class
- 抽象化、汎化 (Generalization)
- 下位のクラス: subclass
- 具体化 (Specialization)



クラス階層の例



継承 (INHERITANCE)

- 全てのフィールドとメソッドが継承される
- 汎化 (Generalization)
- 共通なフィールド・メソッドの抽出
- 具体化 (Specialization)
- フィールド・メソッドの追加
- 実装の追加・変更



継承クラス

- 既存のクラスを継承して新たにクラスを定義
- 親クラスの具体化、差の導入
- 既存のクラスの再利用・拡張
- fieldの追加
- methodの追加・上書き



METHOD OVERLOAD

- メソッドの二つの要素
- Contact またはsignature
- メソッド名
- メソッドの引数並び
- 実装
- メソッドを多重に定義できる



POLYMORPHISM

- 継承したクラスでメソッドを上書き
- `super`を使って、親のクラスを示す



JAVAでの継承の制約

- 多重継承の困難さ
- 複数の親クラスのどの性質を引き継ぐか
- Javaでは
 - 一つのクラスしかextendsで継承できない
 - 特殊なクラスinterface
 - 複数のinterfaceを継承できる

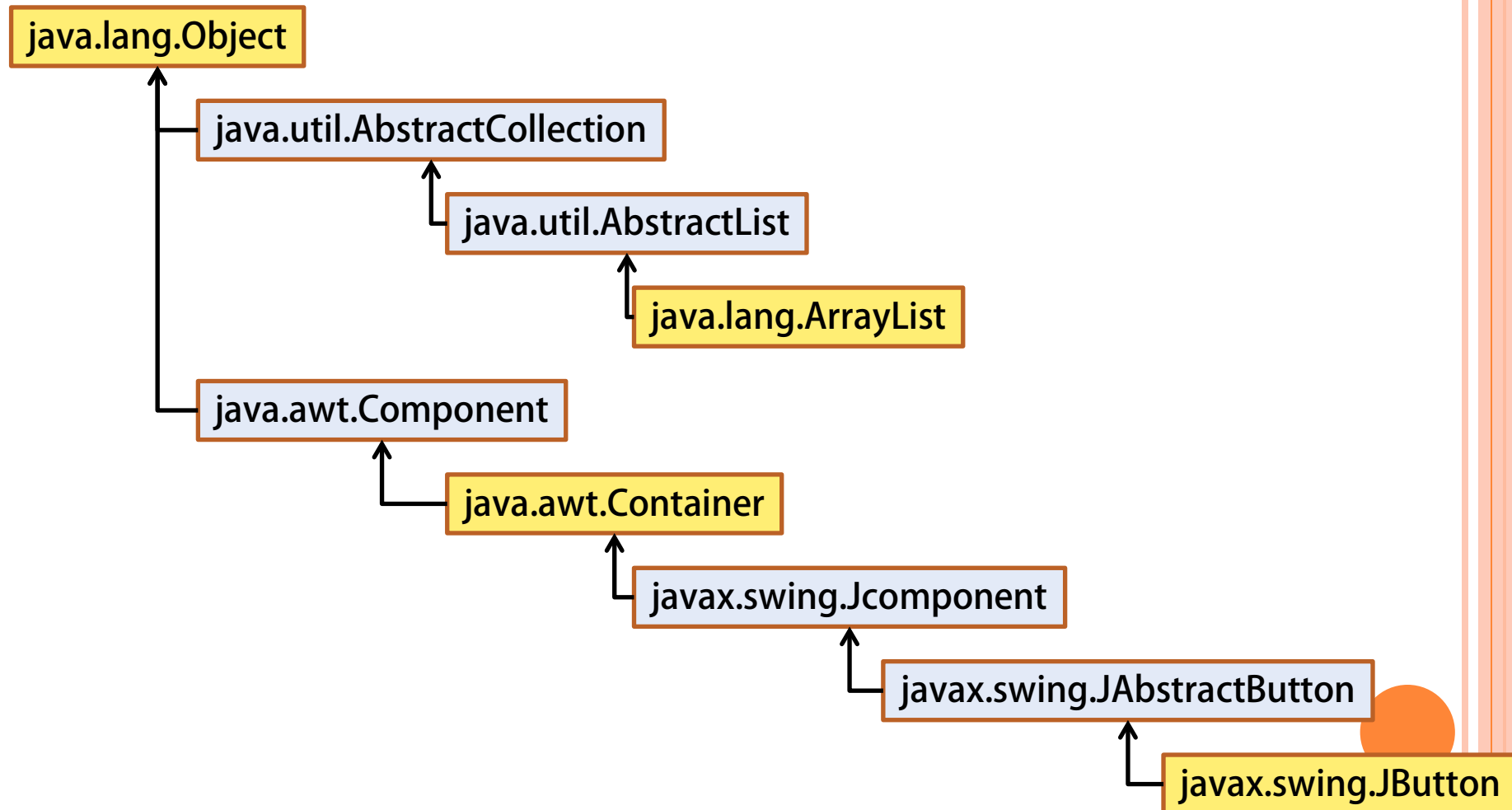


ABSTRACT(抽象)クラス

- 継承する元を定義する
- 共通的動作・fieldを定義する
- 一つ以上のmethodが実装されていない
- abstract メソッド
- 継承クラスで必ず実装



CLASSの継承例



INTERFACE

- 特殊なクラス
- フィールドの制限
- `static final`のみ持つことができる
- これらキーワードは省略化
- メソッドの制限
- `abstract`メソッドのみ:実装なし
- 継承クラスで、`interface`を`implements`する
- メソッドを必ず実装する



INTERFACEの例

- `java.lang.Runnable`
- スレッド呼出
- `java.lang.Comparable`
- 比較
- `java.awt.event.MouseListener`
- マウスボタン操作
- `java.awt.event.MouseMotionListener`
- マウス動作



INTERFACEの使い方: 例: RUNNABLE

```
public class B{  
    private Thread t;  
  
    public void someMethod(){  
        a = new A();  
        a.start();  
        t = new Thread(a);  
        t.start();  
    }  
}
```

```
public class Thread implements Runnable{  
    private Runnable target;  
  
    public void start(){初期化}  
  
    public void run(){  
        if (target != null){  
            target.run();  
        }  
    }  
}
```

```
public class A implements Runnable{  
    private volatile boolean running=false;  
    public void run(){  
        while(running){  
            処理  
            if(条件)running = false;  
        }  
    }  
  
    public void start(){  
        running=true;  
    }  
}
```

